

メシエマラソンチャレンジ in さじの実施について

山崎 慎也(さじアストロパーク)、宮本 敦(さじアストロパーク)、米澤 樹(みさと天文台)

1. はじめに

2026 年は公開天文台 100 周年の記念の年である。2025 年 11 月 21 日から 2026 年 11 月 21 日にかけて公開天文台 100 周年記念企画イベントの一環として「みんなで見よう！メシエ天体」が開催されている。これを盛り上げるためさじアストロパークにて「メシエマラソンチャレンジ in さじ」を実施した。参加者は日本公開天文台協会（以下 JAPOS）のメーリングリストで有志を募り[1]、メシエマラソンの様子は当館 YouTube チャンネルでライブ配信を行った[2]。イベント後の参加者は当館の天体宿泊施設「星のコテージ」に宿泊し、翌日まとめの会を実施した。

2. 参加者(申込順・敬称略)

宇津木 翔（星の子館）、佐藤 章（JAPOS 国際連携推進委員会）、米澤 樹（みさと天文台）、古屋 昌美（向日市天文館/さじアストロパーク）、宮本 敦（さじアストロパーク）、山崎 慎也（さじアストロパーク）

3. 企画詳細

日時：2026 年 5 月 17 日(日)17 時～5 月 18 日(月)10 時（1 泊 2 日）

主催：さじアストロパーク

協力：日本公開天文台協会（JAPOS）

会場：さじアストロパーク 4 階観測室、天体宿泊施設「星のコテージ バラス観測所」（図 1）

内容：さじアストロパークの 103cm 大型望遠鏡を使用したメシエ天体の観察

電視観望システムを使用した YouTube ライブ配信

日程：

5 月 17 日(日)

17:00	開会。日程説明など
17:30～18:15	コテージ望遠鏡操作講習
18:15～19:30	夕食、休憩
20:00～21:00	当館の夜間観察会へ参加
21:00～	メシエマラソンスタート
26:00 頃	メシエマラソン & YouTube ライブ配信終了
	片付け
	参加者は宿泊場所の星のコテージへ

5 月 18 日(月)

09:30～	まとめ
10 時ごろ	解散

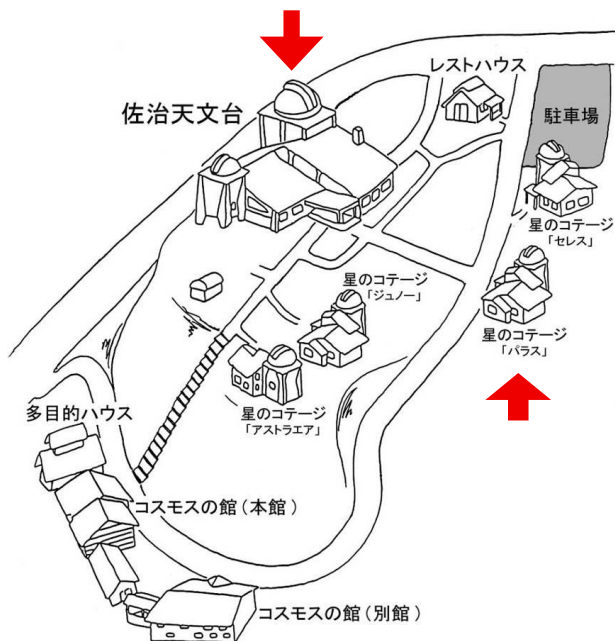


図1 さじアストロパークの全体像と宿泊会場「星のコテージ パラス観測所」

4. 観測設備・配信機材

眼視確認用の機材として当館4階観測室に設置されている103cm反射望遠鏡を使用した。またテレビ観望システムは103cm反射望遠鏡に同架されているVixenSD103S（口径10.3cm、焦点距離：795mm、F7.7）にZWO ASI294 MC Pro（カラー冷却、センサーサイズ4/3）を取り付けて使用した。ASI Air ProとiPad Proを使用して極力ケーブルが少なくなる構成とし、モニターと配信用PCに映像を分配出力できるようにしている。また、望遠鏡の映像だけでは配信画面の動きが少ないことを考慮して観測室の様子も配信できるようにカメラを設置した。音声については参加者がメシエ天体の解説やコメントを配信用PCの内臓マイクで発信でき、視聴者と双方向でやり取りできる環境にしている（図2）。テレビ観望システムについては「2021年 第15回全国大会（リモート大会）」の集録で詳しく紹介している[3]。観察したメシエ天体は「みんなで見よう！メシエ天体」の特設サイトで公開している「メシエマラソン記録チェッカー」を活用して記録した[4]。

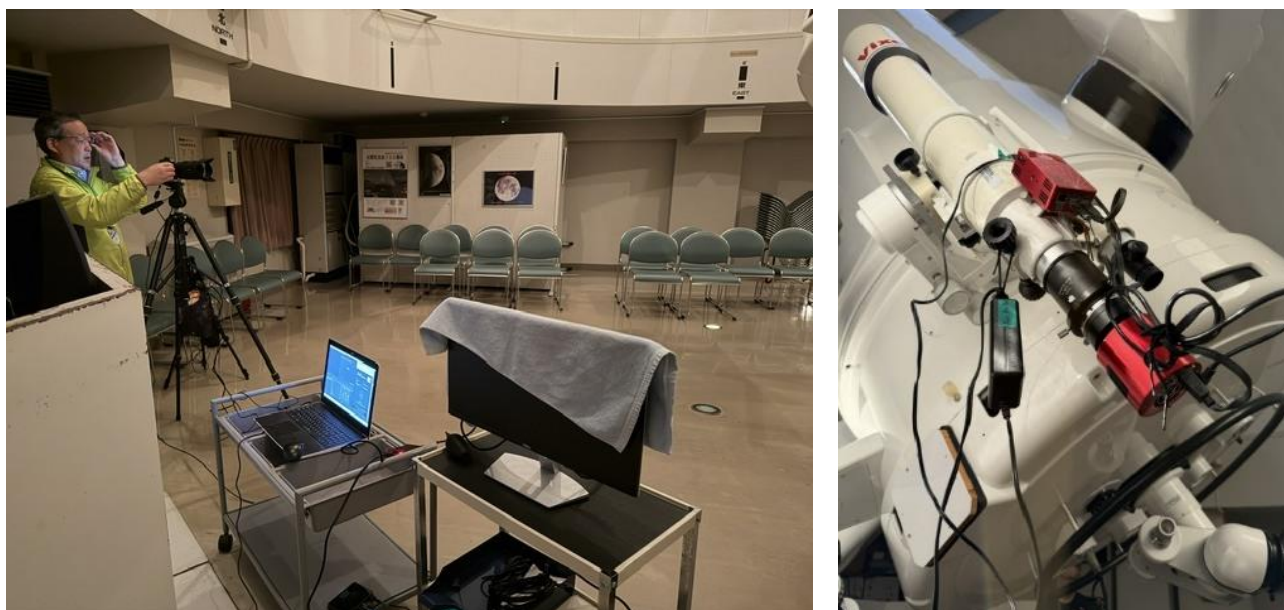


図2 観測設備・配信機材の様子

5. 実施結果

5月17日21時頃から開始して、26時頃に終了するまでの約5時間でメシエ天体110個のうち57個観察でき、ハーフマラソンを達成した(図3)。ライブ配信の結果は以下の通りで、深夜帯にもかかわらず想定以上の反響があった(表1)。また、翌日には公開天文台100周年記念事業の一つである「今、天文台にいます」掲示板へ観察した天体の報告を行った[5]。



図3 メシエマラソンの記録

表1 「さジアstroパーク 生配信(春の銀河まつり)」

配信日	2026年5月17日(日)
視聴回数	296
平均再生時間	14:03
最大同時接続数	25
高評価の合計数	9
新規チャンネル登録者	9
チャットの合計数	203

6. 参加者からの感想

- ・普段はなかなか目を向けないマイナーな天体から、お馴染みの天体、さらには各自の「推し天体」まで、次々と見比べることで、それぞれの天体が持つ個性をしっかりと味わうことができました。一晩のうちに集中して巡ったことや、電視観望を併用したことで、天体ごとの明るさや大きさの違いを明確に比較できたのはとても面白かったです。また、みんなで一緒に観察しながらその場で感想を共有し合うことで、一人では気づけないような新しい発見もたくさんありました。
- ・メシエマラソンはいつか実施してみたいと思っていたため、非常によい機会となった。
- ・実際に体験してみると、思った以上にハードであった。自動導入でもこれだけ大変なのだから、手動導入は本当にマラソンのような大変さなのだと思身染みした。
- ・企画として実施して頂いたおかげで、感想等の共有もでき、非常に楽しい企画であった。
- ・企画頂いたさじアストロパークの皆様、本当にありがとうございました。
- ・普段の観望会でお客様に紹介しないような天体の特徴や見え方を確認でき、ネタ探しにもよかった。たとえば目的の天体に雲がかかっている場合などに活用できる天体候補がいくつかあった。
- ・一人じゃないのはいいなと改めて感じた。感想を言い合ったり、リクエストをきいたりできるのは複数人で行うメリット。

7. まとめ

晴天に恵まれたことと、103cm 反射望遠鏡の集光力と自動導入精度の高さによりスムーズに進行できた。参加者の感想にもあったようにもっと小型の機材を使用して手動導入で実施している先人達の技術の高さに感心する場面が多かった。また、普段の来館者向けの観望会では絶対に向けないような銀河や星団を観察し、大きさや明るさの特徴などを直接比較するいい機会となった。秋の天体が観望できなかったのが次回は9月頃に実施できればと考えている。

8. 参考資料

[1] JAPOS の ML[1970_japos]より

[2] さじアストロパーク 生配信（春の銀河まつり）

<https://www.youtube.com/watch?v=UsJ3X5QBGLg>

[3] JAPOS 第 15 回全国大会集録 p.30-33

https://www.koukaitenmondai.jp/convention/2021_tochigi/2021_syuroku.pdf

[4] メシエマラソン記録チェッカー

<https://www.koukaitenmondai.jp/100th/messier/index.html>

[5] 今、天文台にいます

<https://bbs1.rocketbbs.com/obs100imaten>

